



たのしくモーニングで集う (集活センターくろいわ)

あかわ *Sakawa* 議会だより

71
2017.8.1

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents 目次



100人以上集う加茂の子ども食堂
(集活センター加茂の里)

修正動議出される	3
テニスコート増設設計委託費補正	4
ぐるぐるバス検討を	5
議会懇談会報告	13

一般会計 6月補正予算 増額補正を修正可決

6月定例会は、6月2日から8日までの会期で開かれました。

平成29年度の一般会計補正予算は、修正動議が提出され、審議の結果、賛成多数により修正案を可決しました。また、修正部分を除く補正予算、条例改正、契約締結など議案8件、報告3件を審議し採決の結果、全件可決しました。



テニスコート増設予定地

平成29年度補正予算

(単位：円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		2,633万	65億5,069万
特別会計	国民健康保険	18万	19億9,924万
	介護保険	△729万	18億6,673万
	後期高齢者医療	△ 8万	2億3,559万

6月定例会で決まりました

条例制定

佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正制定

佐川小学校で実施している放課後児童クラブにおいて、夏休みの期間のみ児童を受け入れる場合、保護者負担金の一部を改正する。

物品購入契約締結

戸籍総合システム運用機器更新のための機器購入

(契約の方法)
随意契約

(契約金額)

896万4千円

(契約の相手)

富士ゼロックスシステムサービス株式会社

消防ポンプ自動車の購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

2785万30円

(契約の相手)

株式会社 藤島



入れ替え予定のポンプ車



役場前の発明ラボの拠点施設

発明ラボ予算 修正動議出される

佐川町一般会計補正予算でさかわ発明ラボの耐震診断・設計料162万円、耐震改修工事請負費1100万円をゼロにする修正動議が出され、採決の結果、賛成多数で修正案が可決されました。

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

永田議員 さかわ発明ラボの建物の契約年数と家賃を聞く。

岡崎チーム佐川推進課長 契約期間は1年間で家賃は月額6万円。

永田議員 1年契約のものに多額の予算が組まれているのは納得できない。白紙にできないか。

堀見町長 予算の凍結をして丁寧に説明をする。

松浦議員 個人の住宅に大金をつぎ込むのなら、遊休地を使いある程度のもを建てられるのではないか。その検討はしたのか。また今後の事業展開をどう考えるか。

堀見町長 町有地に新しく建てる適当な場所がなく、費用もこの金額ではあさまらない。事業展開は自伐型林業と連携し、デジタルものづくりを推進していく。

下川議員 貸付期間には問題があると考ええる。議会に対し中身について説明をどうしていくのか、今後取り組みをどう進めるのか。

堀見町長 まず契約の見直しを早期に行う。またさかわ発明ラボの存在意義等を説明する。その後設計、工事へと進む。
坂本議員 補助金はどうか。

堀見町長 地方創生の推進交付金をあてる。

予算修正動議とは

町長が提案した予算について、議会が見解を異にし、納得できない場合、歳入歳出予算等各予算項目について、議員提案の修正案を提出し、審議して議決する方法。



6月 補正予算 ピックアップ



牧野公園の老朽化した石垣

老朽町営住宅住み替え
事業による解体工事費。

238万円

財産管理費

プール・サウナ
及びテニスコー
ト管理費
714万円

テニス人口の増加に伴
い町民テニスコートの増
設と駐車場を整備するた
めの測量設計業務委託費
用。

牧野公園維持管理費
154万円

牧野公園内の石垣が老
朽化しているため、台風
時期を迎える前に修繕
し、安全対策を講じる。

各議員の意思表明

賛否表(平成29年6月定例会)

○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
平成29年度一般会計補正予算(第1号)(修正案)	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算(第1号)(修正案を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
字の区域及び名称の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
物品購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
物品購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

佐川ぐるぐるバス デマンドの検討を

チーム佐川推進課長 **メリット、デメリットある**

コミュニティバスが
かわるくるバスの試験
運行が開始された。今の
コースでカバーしきれな
い地域、また高齢者や障
がい者の方たちへの対策
としてデマンド方式によ
るバス運行を検討するべ
きではないか。
岡崎チーム佐川推進課長
デマンド方式をしていく
には、メリットもデメリ
ットもある。本町が考え
ていく中では、今の形を
当面行っていく。
もちろん、住民の方の
声を聞きながら、どうい
った形がいいのか、今後
公共交通会議等で、協議
はされると思う。



あったらいいね！お湯の出る自販機

災害対応型紙カップ自販機 設置を進めるべきだ

総務課長 **順次、進めていきたい**

災害時に避難所や病院
等において、お湯、お水
等の飲料を提供できる、
災害対応型の紙カップ式
の自販機の設置及び災害
協定の締結を進めるべき
だ。
麻田総務課長 アルファ
米や乳幼児のミルク用な
どにお湯は非常に有効で
ある。災害協定を締結で
きるメーカーの調査、施
設利用料など、本年度中
に取り組みのルールを決
定し、対応が可能な避難
所から順次、災害協定の
締結を進めていきたい。

文部科学省は、要保護
児童生徒援助補助金要綱
を改正し、新入学児童生
徒学用品費の単価の増額
とともに、支給対象者に
就学予定者を加え、平成
30年度から予算措置する
との通知を行った。
本町についても、要保
護児童生徒に対して同
様に、就学援助における、
単価の見直しと入学前支
給を実施するべきだ。

川井教育長 国の補助金
交付要綱の改正を踏まえ、
平成30年度の新入学生か
ら、3月支給を実施する
ようにしたいと考えてい
る。
また当然、単価も見直
していきたい。

教育長 **平成30年度から実施する**

就学援助の新入学児童学用品費 入学前支給するべきだ



ランドセルは入学前に欲しいよね！



放課後児童クラブ 利用料の改善を

教育長 減額を検討する

坂本 玲子 議員



国保税の賦課方式は現在4方式で資産割がある。しかしこれは固定資産税の二重取りとなり、

国保税 賦課方式検討を

町民課長 最終的には3方式に

和田町民課長 町国保税を検討するとき段階的に資産割を少なくし、最終的には3方式にする方向で協議を行いたい。子育て世代の子供の均等割の軽減は困難と考える。

資産割の無い3方式が望ましい。それについてはどうか。また、子供のいる家庭では均等割があり大変厳しい状況がある。子供の均等割を町独自の事業として軽減できないか。

尾川、斗賀野で実施している放課後子ども教室は無料である。佐川で実施しているナウマンクラブは有料で利用したくてもできない家庭がある。要保護、準要保護の家庭の利用料の軽減を。

川井教育長 来年度からの利用料を見直す。利用料の減額についても検討する。



もっと利用しやすいナウマンクラブを！



乗ってみましたか？ぐるぐるバス

ぐるぐるバス 今のやり方不満足

チーム佐川推進課長 変えられるところは変えていく

ぐるぐるバスの今の方式では満足してない方が多い。利用者も少ない。デマンド方式と路線方式を合体するやり方を提案する。1台は中心部で使う。あと2台あるので、各地域の集落活動センターを拠点として、中心部へ1時間に1回程度運行。その間に要望に応じて自宅まで迎えに行く。乗り換えが難しい方は直行とするのはどうか。

岡崎チーム佐川推進課長 公共交通会議で、路線型でいくということにスタートした。意見を聞き、将来的には変えられるところは変えていく。

その他の質問
○手話言語条例について
○要介護者の障がい者認定について



森 正彦 議員

町の水田を維持して
くには稲作の単一経営で
は困難である。園芸ある
いは林業との組み合わせ
で水田を維持する方法が
考えられる。
公共性を持った法人等

水田維持に 法人設立して対応すべき

町長 真剣に考える時期

の設立で水田を守らな
ければならないと思うが、
どのように考えているか。
堀見町長 水田を維持し
ていくことは、水源の涵
養も含め公益性、公共性
がある部分であり、役場
を含め地域全体でどのよ
うに維持していくか真剣
に考えなければならぬ
時期に来ている。
役場が主体的に関わり
ながら地域の方々や金融
機関にも知恵を頂いて、
しっかりと経営できる経
営体としての法人設立に
おいて前向きに検討を進
めていきたいと考えてい
る。

新図書館建設 スケジュールは

教育長 策定するには至っていない

新図書館の建設に向け
ての現状と今後のスケジ
ュールは。
また、現在の建設検討
委員会に加え、多くの町
民の意見を聞く必要があ
る。夢を育む場の設定や
講演会、あるいは勉強会
をしてはどうか。
川井教育長 昨年度に引
き続き、県内外の図書館
の実態調査や情報収集に
努めている。現時点では
基本的な部分が未定であ

るため新図書館建設のス
ケジュールを策定するに
は至っていないが、基本
的な部分について検討協
議を進め、来年度の予算
編成の時期には建設に向
けた平成30年度以降のス
ケジュールを策定したい
と考えている。
町民参加の新図書館つ
くりを考えており、講演
会やワークショップなど
を通じて、目指す図書館
像をつくり上げたい。



法人により建設された近代的なハウス

小さな功労者の 表彰を

チーム佐川推進課長 ぜひ表彰したい

佐川町には個人でコッ
コツと地域のために頑張
っている人がたくさんい
る。そんな小さな頑張り

が町を支えている。その
ような小さな功労者をチ
ーム佐川の日に表彰して
はどうか。
岡崎チーム佐川推進課長
今回は5団体を表彰し
た。趣旨としては、団体
に限らず個人の方、本当
にコッコツと地域づくりに
貢献してくれている方
を、ぜひ表彰したいと考
えている。できるなら地
域の方に推薦をいただくと
かそんな仕組みをつく
り、多くの方が推薦候補
に上がるような形をつく
ってきたい。



無人の斗賀野駅にいつも花をありがとう



今橋 寿子 議員

住民と行政連携必須

チーム佐川推進課長 地域担当制検討

住民と行政の連携は必須である。

集落活動センターの活用は町職員はどのようにかかわっていくのか。

町外から採用された職員の佐川町への定住はどうなっているのか。

チーム佐川として意識



園児が地域の人や中学生と芋のツル植え(斗賀野中央保育所)

を共有するためのシンボルマーク・バッジ・Tシャツ等はどうになっているのか。

岡崎チーム佐川推進課長 住民との協働のうえで集落活動センターを核とした住民と職員の連携は重要である。地域担当職員制度ということも検討していく。

シンボルマークについてはロゴマークを作成しているが、他にも検討中。堀見町長 平成25年度から平成29年度32名の採用のうち75%の24名が町内に在住している。

ふるさと教育 町内の人材を生かして

教育長 取り組んでいる

町内には優秀な人材がいる。人材バンク等の組織づくりをし、教育現場でふるさと教育を行ってはどうか。

川井教育長 学校支援地域本部事業の中で、各学校で決めた1名のコーディネーターを通じて地域の人材を活用している。農業体験、食生活改善推進協議会の郷土料理の指導、また中学生では、職業体験等を通じてさまざまな事を学んでいる。ふるさとを大切にすることを育むためには、地域の人を知る、地域に向いて人となることが大切だ。

斗賀野小学校の 通学路整備を

産業建設課長 国道への歩道設置を要望する

朝のラッシュ時、歩道のない国道494号は通学路として大変危険で重大事故が心配される。特に入寺山、薄木、野添、狩場地区には他の地区からの転入者も多い。JR斗賀野駅旧線路敷地を利用して歩行者道路を整備してはどうか。

公文産業建設課長 現場を見たが、やはり危険場所だと思われる。国道への歩道の設置を望む声を国、県に届けていく。堀見町長 子供の通学路の安全の確保は大切であるので、学校、PTA、地元の方々と協議をして検討していく。



トラックが通る危険な通学路



下川 芳樹 議員

高齢者の増加とともに地域公共交通などの交通手段が、地域を支える重要な役割を果たす。厳しくなった新道路交通法や多発する高齢者の事故を踏まえ、高齢者ドライバーが免許を返納し

免許返納しやすいぐるぐるバス運行を

チーム佐川推進課長 ハード・ソフト面で地域と考える

やむを得ないバスの運行を求める。

岡崎チーム佐川推進課長 4月からのぐるぐるバス運行で、運転免許を返納した方は料金の半額を免除している。免許を返納しても負担のいかなない地域公共交通を、税金を使ったハード面での公助の取り組みと、地域の拠点を活用したソフト面での共助の取り組みを、地域とともに考えていきたい。

地域おこし協力隊の定住状況は

町長 一期生3人は定住

本年度より3年間の活動を終えた地域おこし協力隊員が、町への定住を意思決定する年となる。自伐型林業での定住は経済的に成り立つのか、また、その定住状況は。堀見町長 1期生のうち2人がすでに退任し、専業、副業を含め佐川町で山の仕事を始めている。もう1人は10月に退任後、佐川町で林業を行う。



協力隊が定住しはじめた！

町では林地集約を行政が主体的に行い、国が創設する森林環境税を財源とした山を守る取り組みを進めている。退任し町外に出た2期生も、経済的に成り立たないという事情ではない。



病床削減、在宅医療の方向性は

病院事務局長 通院通所が可能な支援行う

削減率が30%となっている。高北病院への影響はどうか。

また、入院に代わる在宅医療の方向性はどうか。渡辺病院事務局長 98床ある高北病院の病床機能を来年度に向け一部転換し、制度改正に沿った内容にする。

長期的な医療の必要ない方には、施設、自宅に帰れるようリハビリを行う。復帰後は通院、通所が可能になるよう訪問診療、訪問看護、訪問リハを行う。

5年には本県の病床数の地域医療構想で202



力を入れている通所リハビリ施設



中村 卓司 議員

佐川高校活性化 どう支援

教育長 全面的に支援・協力する

佐川高校を活性化し、元気にする支援を町はどのように考えているか。川井教育長 佐川高校では「いのち輝け、さくら咲くプロジェクト」で地域に対する関心を高め、将来、地域の発展に貢献

する意欲を持つ人材を育成するための学習を行っている。町としても全面的に支援、協力している。また、本年度からは学校支援地域本部事業を実施することとしており、4町村と学校組合の5つの教育委員会の教育長で構成する佐川高等学校共同本部運営協議会が6月中旬には開催され、活性化に向け支援の内容について検討する。今後は佐川高校の魅力ある学校にしていくために大学進学、就職、この2つの実績をしっかりと積み上げていく必要があると考える。

柳瀬川改修 動きが遅い

町長 早期に実現要望

柳瀬川改修に向けての動きが鈍化していると聞く。その現状はどうなっているのか。公文産業建設課長 平成28年度に最下流の越知1工区の900m区間の左岸側の用地調査、登記簿等の調査が行われた。今年度には1工区の右岸側の地質調査、測量設計、黒岩橋の予備設計等が行われ平成30年度に1工区の



もっと元気に！佐川高校

用地測量を行い、平成31年度から用地買収に順次入っていく。今後は仁淀川中流域水害対策住民会議や越知町、佐川町、土木事務所と話し合いながら進めていく。堀見町長 予算が少なすぎるため、知事にはできるだけ早く実現していただきたいと要望している。

道路整備 不十分では

町長 住民の声を聞き考える

町内の道路整備が十分でない。総合計画の中で見直したらよいのではないか。町長の考えはどうか。

堀見町長 国、県とも相談をしながら、住民の皆さんから上がった声の中で、全体のバランスを見た中でより必要な道路整備は何なのか、長寿命化なのか、その都度その都度で協議をしていきたい。その中で道路の計画見直しの必要性があるならば当然考えていかねばいけない。



調査が進む柳瀬川

病後児保育施設の利用はあったのか

健康福祉課長 **利用はない**

田村健康福祉課長 平成28年6月の開所後1年が経過したが、利用者はいない。問い合わせは5回ほどあった、事前申し込みは3件あったがいずれも利用までには至っていない。

定数は3名だが異なる感染疾患で複数の受け入れはできない、原則1名となっている。ただ、同一家庭の場合は3名受け入れできる。回復期を迎え病気が落ち着いているなら、定数3の受け入れは可能だ。

利用についてはさらに周知を図る。



岡村 統正 議員

施設が開所してからの利用者は何人か。また、利用したいとの問い合わせはあったのか。
受け入れの定数は何名か。
複数の家庭から同じ疾患で受け入れとなった場合受け入れることができるか。
今後の対応は。

自伐型林業作業班の責任者は

産業建設課長 **決めていない**

一般的に建設作業など朝8時から作業につくが、9時15分ごろ協力隊員の車をたびたび見かける、作業の計画書、1週間の作業計画は立てているか。

また、全体の責任者と作業班の責任者は決まっているのか。危険な仕事も当然あるなかで、役場の職員に任せるのではなく作業班の責任者を決めらるべきだ。

公文産業建設課長 朝8時30分に役場に出動した後現場に出る、17時



病後児施設はできたが...

15分には役場に帰っていない。週の木曜日にミーティングをし、翌週分の計画を立て隊員の出勤口、活動の現場、作業の内容を共有して計画を立てている。協力隊員同士が対等の立場であることから、班の責任者については特に決めていない。

堀見町長 1週間の計画を立てたときに、赴く現場においてグループのリーダー、責任者を前もって決めておくことは大変大切な。私からも伝えておく。

役場駐車場に公衆トイレの新設を

町長 **観光の視点から真剣に考えたい**

障が出てはいけない。また、観光客に嫌な思いをさせてはならない。役場が休日には庁舎内のトイレは利用できない。

役場駐車場の川寄りにトイレを新設し観光バスにまず回ってもらうような運行計画を組んでもらうことで、銀行その他に迷惑をかけなくなるが、新設の考えは。

堀見町長 観光客の方々に気持ちよくトイレを利用していただくことは大切なことだ。役場、観光協会、くろがねの会、観光にかかわる皆さんと、観光という視点からトイレをどうしたらいいか協議し真剣に考えたい。

上町の観光客も右肩上がりで増えて大変喜ばしいが、問題点も見えてきた。観光バスの駐車場にトイレが無く四国銀行のトイレを使うということが起きている、業務に支



技術習得中の協力隊員



永田 耕朗 議員

投票所の見直しをすべき

選挙管理委員会事務局長 調査研究を実施

平成18年に行財政改革の一環として投票所が20力所から5力所減らされたことにより、投票所が遠くなり、徒歩で行くには困難な距離の地区が指摘されている。過去の変更によっていろいろな問題、弊害、不平等な状態が生じている。選挙管理

委員会も投票所を5力所減らしたことよって問題が生じてあることを認めながら改善されていない。

前回の統廃合から10年以上経過している。高齢化社会へ急速に進展する中で、ますます投票難民の増大が心配される現状を見直す時期ではないか。

選挙は10月に差し迫っている。早急に改善し、一人でも多くの方が自分の足で投票に行けるような環境を整えるべきではないか。現況は十分でない。



以前投票所だった庄田公民館

麻田選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会としても現況の投票区あり方が十分であるとは認識していない。投票区の見直しについて引き続き調査研究を実施していく。

選挙に関する問題については選挙管理委員会の中で検討して解決していくべき問題であると認識している。

四万十町議会との意見交換会

7月10日四万十町で議員の意見交換会が行われた。四万十町は先進的な取り組みを行っており、今回はペーパーレス化への取り組みと議会懇談会について話し合いが行われた。

ペーパーレス化

議会活動の利便性を高めるため、四万十町議会では平成23年からタブレットを導入し、ペーパーレス化に向け取り組みを始めている。佐川町でも検討してみても、との声があり、現状のメリット・デメリットについて四万十町議会との意見交換を行った。当町での導入については課題もあり今後の検討が重要である。

議会懇談会の取り組み

四万十町議会では、当町と同じ方法で地域での議会懇談会を開催してきたが、参加者が少なくなるとマンネリ化が進み

新たな試みとして地域の世帯を議員が訪問し、個別に意見を求めて成果を上げている。

当町でも新しい取り組みの一環として貴重な内容が勉強でき、今後のあり方について考える機会となった。



四万十町での意見交換会

《 住民の中へ・・・地区別に議会懇談会を開催 》

議会懇談会報告

5月10日から18日の間に、町内の5地区で議会懇談会を開催しました。

議会からは平成29年度当初予算の概要や、定例会等の内容について説明をし、住民からは議会や交通、災害など幅広い意見や要望が寄せられました。問題別に内容を整理して報告します。



懇談会の様子

議会について

議員

◎議員のなり手不足、議会で検討したか。

検討している。これまでも無投票はない。

◎定数を減らし歳費を増やしてはどうか。

定数と歳費については話したが結論は出てない。現状のままこく。



本会議の状況

投票所

◎高齢化が進み投票所に行けない人が増えている。以前の投票所の状態に戻してほしい。

選挙管理委員会に伝える。



実証運行中のぐるぐるバス

交通

ぐるぐるバス

◎ルート変更と料金の減額を。

今は実証運行で確定していない。執行部に伝える。

◎停留所に行けない人への対応は。

障害福祉の関係ではタクシー券等を考えると答弁があった。

◎家まで入るタクシーのよきな方法を。執行部に伝える。

国道

◎国道33号の改良計画は、高規格道路として議会からの要望活動は、住民への情報周知は。

部分的な改良計画はある。国道33号沿いの首長、議長による期成同盟会にて陳情している。住民周知は国交省と協議する。



改良が待たれる国道33号

産業

道の駅

◎建設の見通しは。

検討委員会を立ち上げて議員2名を含み25名の委員で検討している。

河川

◎尾川の川は昔の面影がない。せき・ふちがある川に戻すべき。研究するよう執行部に伝える。



葦に覆われた尾川川

◎柳瀬川の改修の進度が遅い。議会の後押しを願う。
町長と話をして善処していく。

自伐型林業

◎地域おこし協力隊員が3年経過後、定住ができる環境をつくるべき。

執行部では定住できると答弁している。議会も提言を行っている。

— 住民の信頼に応えられる議会へ —



原風景を守りたい！

農業

◎耕作者の高齢化で耕作放棄地が増加する。何か考えはあるか。

農業法人・集落営農・企業誘致等形を変えたやり方で農地を維持管理していかなくてはと考える。

水道

◎西山の飲水施設から尾川橋までの間に水道がない。

地域からの要望を出してもらえば水道運営委員会が協議しよう。

災害

霧生関

◎全面舗装すると大雨の時下流に影響が出るので。

全面舗装にはならない。

無線

◎役場のアマチュア無線は平素から交信試験をしておくべき。

執行部に伝える。

防災無線

◎地域のイベント情報は複数回放送できないか。今年から一回となったよつだ。



上水道が通っていない地域 どうする？



完成した霧生関ヘリポート

街路灯

◎防犯灯のLED化は進んでいるが街路灯は対象にならないか。

執行部答弁で平成29年度から検討することの説明があった。



斗賀野地域の街路灯

住宅耐震化

◎耐震化補助金の事務手続きが遅れがちと聞いている。

執行部へスピーディーに事務処理するよう伝える。

その他

学校給食費

◎滞納はあるか。

現年は百パーセント徴収できている。特に問題はない。

新採職員

◎町外が多い。町内のイベントに参加して交流を。執行部に伝える。

婚活

◎結婚していない者が多い。婚活は？

県主催の婚活パーティーがある。

予算

◎財政調整基金の残高と今後の見通しは。平成28年度末で21億8千万ある。



電柱があって危険な通学路

通学路

◎佐川小学校の通学路でまちなかは狭く危険。電柱の地中化はできないか。執行部に伝える。



地域で応援しよう！佐川高校

佐川高校

◎活性化するための手立ては。

総合計画の中で支援を位置つけている。佐川だけでなく4カ町村で守ることが大切。

春日荘

◎古くなって雨漏りがある。計画的な改修が必要。以前広域議会で移転を計画したが、土地の問題があり進展していない。

◎入居の待ち人数は。

待ち人数は減っている。将来的にも少なくない見通しがあり、運営が厳しくなると思われる。



老朽化した春日荘

あれはどうなったか？



実証運行中のぐるぐるバス
(あったかふれあいセンターに立ち寄っている様子)

地域公共交通

(平成26年12月定例会)

少子高齢化のなか、高齢者や不自由な方の通院や買い物、また子供たちの通学にも影響を与える地域の公共交通について町の考えは。(中村議員)

関連質問 松浦議員、坂本議員
永田議員、下川議員

町答

長弁

平成29年4月から実証運行開始

平成26年末から住民を対象に移動に関するアンケートや聞き取りを実施。平成27年度に地域公共交通会議を立ち上げ、具体的な内容の検討開始。平成29年4月から実証運行開始。

どうなった

多くの方が満足できる形を模索

住民の意見を聞き、現状を把握する。地域公共交通会議の中で、さまざまな意見をトータルに照らし合わせ、より多くの方が満足できる形の地域公共交通を模索していく。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月8日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

今年10月には町議会議員選挙があります。私たち、編集委員による広報作成も今回が最後となります。議会の傍聴に来る人が少ない中で、議会広報は議会の動きを町民の皆様伝える最大のツールとなっております。委員会では町民の皆様とにかく読みやすく分かりやすい広報にするか苦心しています。しかし、肝心なのは議会活動が活発に行われているかどうかです。それが充実した紙面につながります。次回の選挙で活発な議会活動ができる人を選ぶことが大切です。

森 正彦

地域で がんばる

とかの農耕支援クラブ

— どんごんごんごで活動を始めましたか。

斗賀野のような農村地域でも子供たちが農業に触れ合う機会がありません。今、子供たちに稲作などの体験をさせてやらないと、もう一生、稲や麦づくりに触れることは無いだろうということになって始めました。

わがまち佐川には、地域のために活動している組織やグループがあります。その皆さんにサポートを当て紹介します。

今回は、斗賀野地区で子供の農業体験を支援するとかの元気村学校農耕支援クラブのリーダー真辺誠男さんにお話を伺いました。



リーダーの真辺さん



田植えも上手になってきた

— 始めてどれくらいになりますか。

さあ、どれくらいになるでしょうか。20年以上はたっていますね。最初は土地改良が終わったころから数人でやっていた。今は10数人でやっています。

— どんごんごんごをしていますか。

稲は箱への種まき、田植え、稲刈り。麦や芋も作っています。今は珍しい麦踏みもしていますよ。また、保育の子供にコマ回しやたこ揚げも教えています。名人が居ますから。



おいしいお米が豊作だ

— 苦労はありませんか。

田ごしらえ等の準備や後片付け、草取り等の管理が結構大変です。でも苦勞よりも楽しいですね。皆でやって、そして子供がワイワイガヤガヤ大喜び、その顔を見ると嬉しいし元気が湧きます。

— これからの抱負は。

やっぱり、体力の続く限り関わっていきたくいですね。そしてこの活動がずっと続いてもらいたいですね。

ありがとうございます。この子供たちのためにという思いがひしひしと伝わってきました。体に気をつけて頑張ってください。

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。



コマ名人になったかな？